


| | | | |
|---|--|---|---|
|  | <h1>宗岡小だより</h1> | めざす学校像 「安全・安心できれいな学校」 「子供達一人一人の居場所がある学校」 | 11月の生活目標 |
| 開校明治七年 開校145年目 | 学校教育目標 自分がすき・友だちがすき・町がすきな宗岡の子 | 11月号 令和元年11月1日 志木市立宗岡小学校 児童数 449名・学級数 17学級 住所 志木市中宗岡3-1-1 TEL 048-471-0307 | 友だちに 思いやりをもとう ・相手の気持ちを考えよう ・友だちのよいところを みつげよう |
| 育てる子供像 地域を愛し、誇りをもって、地域に貢献する子供 | | | |

霜月 地域に貢献する大人の姿から

校長 近藤 章宏

先月の台風19号により、多くの方が亡くなられ、また負傷されました。また家屋等の浸水被害も甚大なものでした。被災された方々に慎んでご冥福を祈り、お見舞い申し上げます。本市では幸いに大きな浸水被害はありませんでしたが、市内全小・中学校が避難所となり、多くの避難者が来校されました。その避難所での様子から感じるところを今回お伝えいたします。

避難所の開設にあたって

志木市では小学校を避難所として開設する際に小学校区ごとに市役所の職員5名による地区本部長が予め指定されています。地区本部長は学区に居住する市職員であるため、その多くの方は本校の卒業生です。5名の皆様には避難所の開設から閉鎖まで、まる24時間対応して頂きました。避難者の適切な誘導や、支援物資の補給、炊き出し等ご尽力いただきました。また別に避難所を担当する職員も指定されており避難所運営にあたりお世話になりました。

避難所での様子から

強い風雨への対応のため12日(土)の午前10時に体育館に避難所が開設されました。当初は高齢の方やお身体の不自由な方が早めに避難していらっしゃる程度でしたが、風雨が強まるにつれその数は増え、18時の段階で200名を超えました。そして22時に宗岡地区全域に避難指示が発令されたことに伴い、水害からの垂直避難を実施するため校舎4階及び3階の

| | | |
|-------|-----|------|
| 22:00 | 574 | (10) |
| 23:00 | 626 | (10) |
| 24:00 | | |
| 01:00 | | |

教室を避難所としましたところ、23時には626名の避難者を受け入れることとなりました。校舎への移動の際には子供達や高齢の方、体の不自由な方を優先して頂きました。とくに車いすや足の不自由な方

の移動に際してはご家族のみならず、周囲の方が率先してご協力くださいました。

急きょ教室を避難所としたため、机や椅子も当然そのままです。避難された方々でお互いに声をかけ移動しており、翌朝の避難所の閉鎖にあたっては教室の現状復帰に多くの方が協力してくださいました。

また初めに避難所となった体育館では、激しい横殴りの雨の影響もあり、校舎及び体育館ではいくつか漏水がありました。その折には避難された地域の方々が率先して水を掻き出すなど対応してくださいました。また本校の児童・保護者の方々も多くおり、バケツやモップを用意すると道具を使って協力して掃除等してくださいました。さらに翌日の朝には当初避難所であった体育館の椅子やマット等の片付けも多くの方が手伝ってくださいました。



志木市における避難所運営の考え方として以下の2点が挙げられています。

- 避難所では、自主防災組織等の地区組織及び避難者、市が派遣する避難所担当職員(避難所班)、施設の管理者や職員等による避難所運営委員会を立ち上げ、組織的な活動を実施します。
- 避難所では、そこにいる方全員が世代や性別に関係なくそれぞれの役割を果たすとともに、情報を共有しながら、相互に連携して各種活動を実施します。

今回の避難所での保護者・地域の皆様の姿勢から平素から協力し合う地域の力を感じ取ることができました。また担当職員の皆様のご尽力に敬意を表します。そして保護者・地域の皆様、市職員の皆様に本校の卒業生が多くいらっしゃることに安心感も覚えます。今の宗岡小の子供達が地域に貢献することができる子供、そして大人へと育って行けるよう教育活動を進めてまいります。